

1 補正予算のポイント

今回の補正予算は、子育て支援の更なる充実のため、保育所等整備による定員増を図るほか、まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業に要する経費等を補正する。

2 補正予算の内容 120,000千円<一般会計>

(保健福祉局)

民間保育所整備助成 55,000千円

債務負担行為設定(28年度126,200千円)

29年4月定員増 1箇所 +30人

・老朽改築及び定員増

…このしま保育園(右京区) 定員+30人(100→130人)

小規模保育整備助成 17,000千円

28年4月定員増 1箇所 +12人

・上京区 +12人×1箇所

介護基盤整備助成 繰越明許費 (855,000千円)

今年度後半に選定した又は選定予定の事業者について、施設整備完了が28年度となるため、繰越明許費を設定する。

(都市計画局)

まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業 48,000千円

手続が簡単で、費用負担が少なく済む耐震改修補助制度である本事業について、「耐震化重点期間」の最終年度である今年度において当初予算を上回る申込みが見込まれることから、事業費の増額を行い、木造住宅の耐震化をより一層促進する。

3 補正予算の規模

(単位：百万円)

会 計 名	補正前の規模	補 正 額	補正後の規模
一般会計	752,377	120	752,497
今回補正しない特別会計	943,403	-	943,403
合 計	1,695,780	120	1,695,900

4 一般会計補正予算の財源内訳

民間保育所整備助成 48,
小規模保育整備助成 15

民間保育所整備助成 7, 小規模保育整備助成 2

(単位：百万円)

項目	補正額	内 容
特定財源	72	府補助金 63 (うち国交付金63), 市債 9
一般財源	48	財政調整基金 48
合 計	120	

まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業

<参考> 財政調整基金の状況

(単位：百万円)

26年度末 残高 (A)	27 年 度 中				27年度末 残高見込額 (A+B-C)	
	積立見込額 (B)	取 崩 見 込 額 (C)				
		当初予算	5月補正	9月補正		11月補正
500	(※) 1,071	—	28	111	48	1,384

※ 26年度決算における実質収支黒字の積立て1,059百万円, 運用益12百万円